

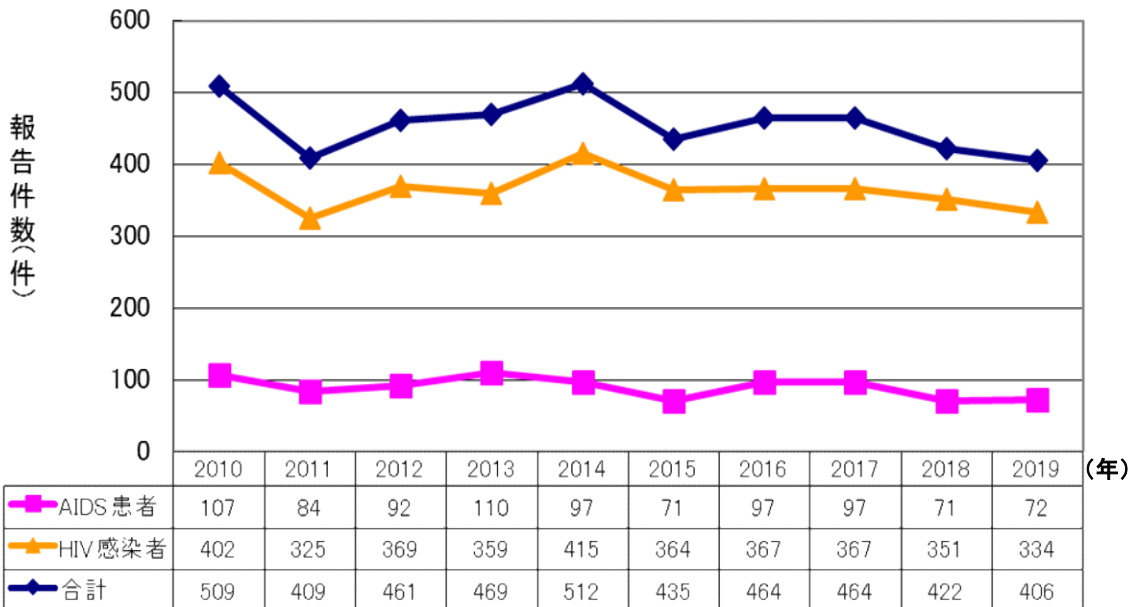
2019年 東京都のHIV感染者・AIDS患者の動向及び 検査・相談事業の実績

2019年のトピックス

- HIV感染者及びAIDS患者を合わせた届出報告数は406件で、2010年以降の10年間で最も低かった。なお、HIV感染者は334件、AIDS患者は72件だった(図-1)。
 (1)日本国籍男性は、2010年以降の10年間で最も低い報告数となった(図-2)。
 (2)推定感染経路では、性的接触によるものが89.2%、男性同性間性的接触によるものが77.8%であった(図-3)。
 (3)年代別の割合は、HIV感染者は20~30歳代が67.4%、AIDS患者は30~40歳代が58.3%であった(図-4)。
- 保健所等でのHIV/AIDSに関する電話相談件数は21,017件で、前年から8.8%減少した。HIV検査件数は32,016件で、前年から8.2%増加した(図-5、6)。
- HIVの感染リスクを高めると言われている性感染症の「梅毒」は、患者報告数が1,712件で、前年より63件減少したものの、感染症法に基づく調査が始まった1999年以降で3番目に高い報告数となった(図-9)。
 男女共に異性間性的接触による報告数が多い傾向が近年続いている(図-10)。
 男性は20~40歳代に多く、女性は20歳代に多い(図-11)。

1 HIV感染者及びAIDS患者の発生動向

図-1
HIV感染者及び
AIDS患者の
報告数の推移
(過去10年)



ひとくちメモ
HIV感染者:
HIV(ヒト免疫不全ウイルス)に感染しているが、AIDSを発症していない状態。

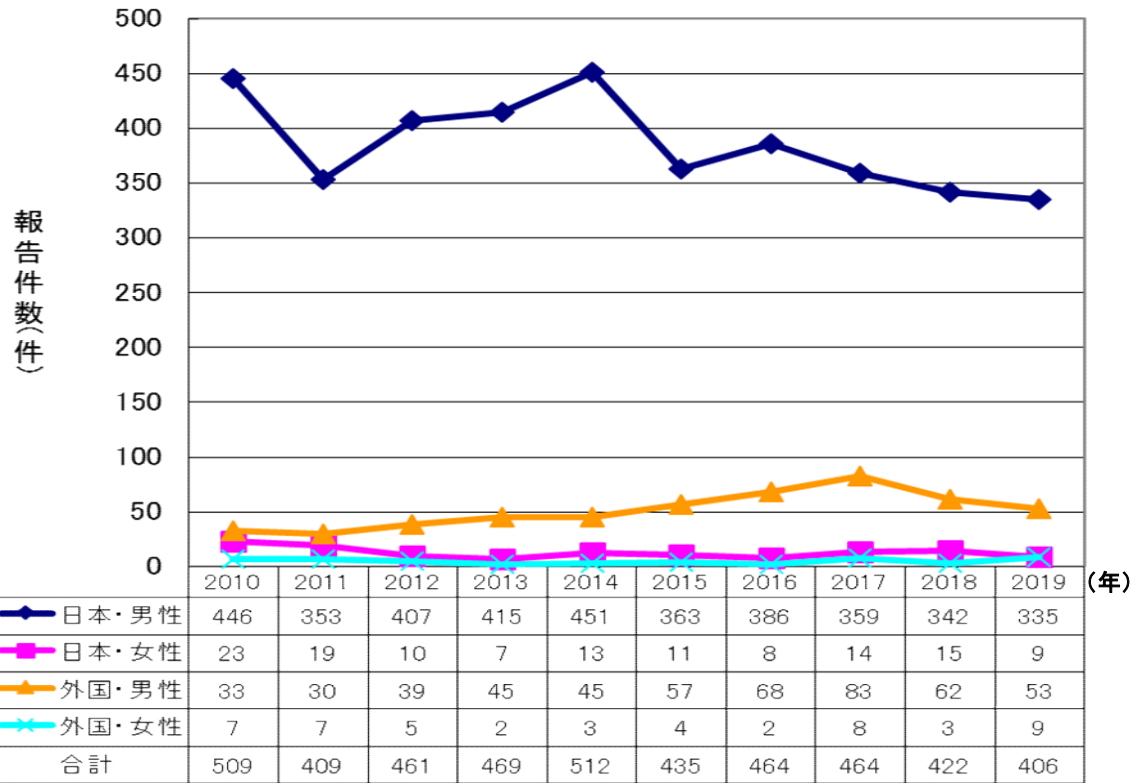
HIV感染者は、前年と比べて17件減少した。AIDS患者は、前年と比べて1件増加した。HIV感染者及びAIDS患者を合わせた届出報告数は、2010年以降の10年間で最も低かった。

本報告は、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づいて、2019年に報告されたHIV感染者とAIDS患者の統計及び区・都の保健所等における相談・検査業務の実績をまとめ、分析したものである。
 なお、HIV感染者・AIDS患者の報告数、相談件数、検査件数については、過去のデータを見直し、更新している。
 また、図表中では、東京都南新宿検査・相談室を南新宿、東京都多摩地域検査・相談室を多摩地域と記載する。

図-2
HIV感染者及び
AIDS患者合計の
国籍・性別報告
数の推移
(過去10年)

ひとくち
×モ

AIDS患者：
HIV感染により免疫
力が低下し日和見
感染症や悪性腫瘍
等(23指標疾患)
が認められた状態
です。
HIV感染後未治療
の場合、数年～10
数年でAIDS発症す
ると言われています。

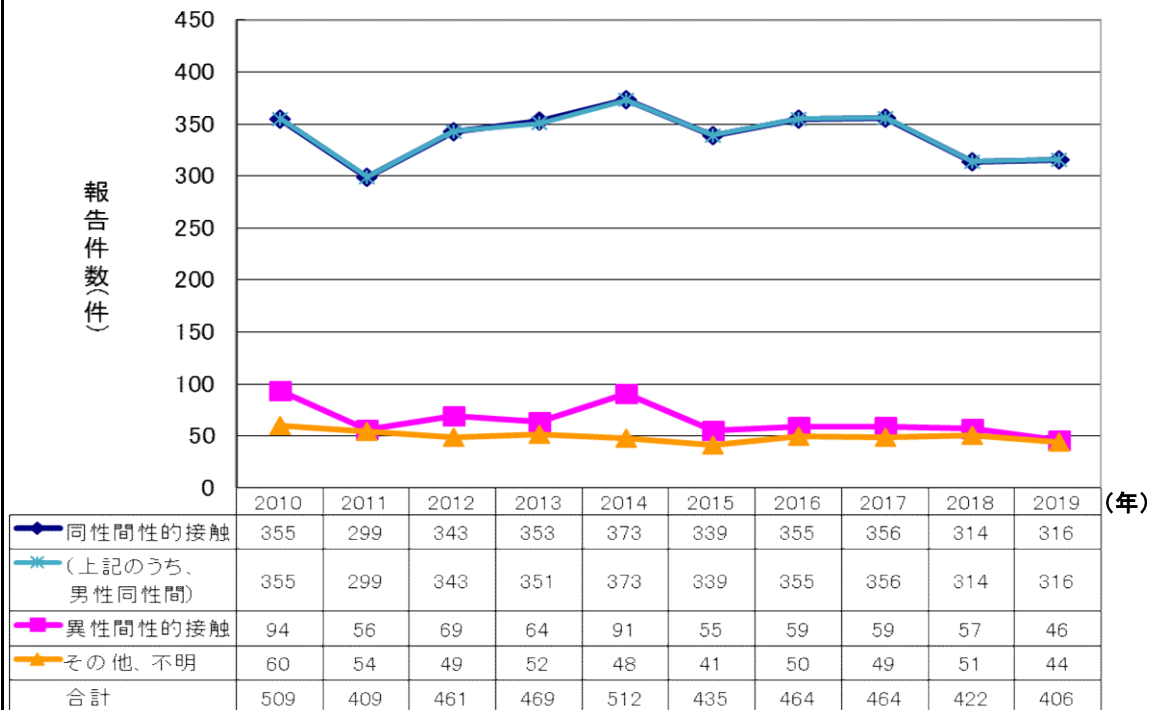


日本国籍男性の報告数は、前年に比べて7件減少した。
外国籍男性の報告数は、前年に比べて9件減少した。
日本国籍女性と外国籍女性の報告数は、近年ほぼ横ばいで推移している。

図-3
HIV感染者及び
AIDS患者合計の
推定感染経路別
報告数の推移
(過去10年)

ひとくち
×モ

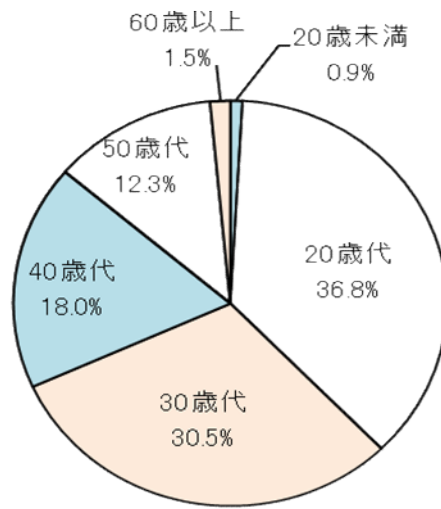
「その他、不明」に
は、感染経路が不明
または複数あった
り、母子感染や
静注薬物使用の可
能性のある場合な
どが含まれます。



同性間性的接触による報告数は、前年に比べて2件増加した。
異性間性的接触による報告数は、前年に比べて11件減少した。

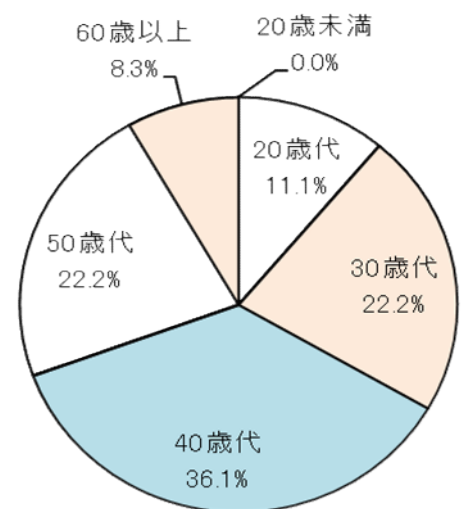
図-4
HIV感染者及び
AIDS患者の
年齢別割合
(2019年)

(1) HIV感染者



	HIV(件)
20歳未満	3
20歳代	123
30歳代	102
40歳代	60
50歳代	41
60歳以上	5
合計	334

(2) AIDS患者

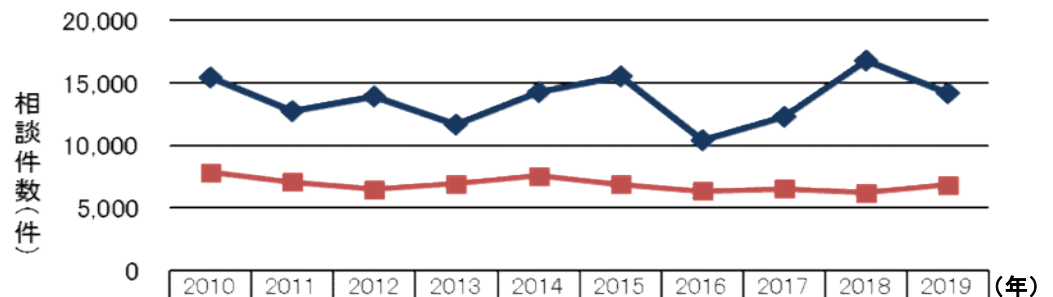


	AIDS(件)
20歳未満	0
20歳代	8
30歳代	16
40歳代	26
50歳代	16
60歳以上	6
合計	72

HIV感染者報告数は20～30歳代に多く、AIDS患者報告数は30～50歳代に多い。

2 相談・検査体制

図-5
保健所等での
電話相談件数
の推移
(過去10年)



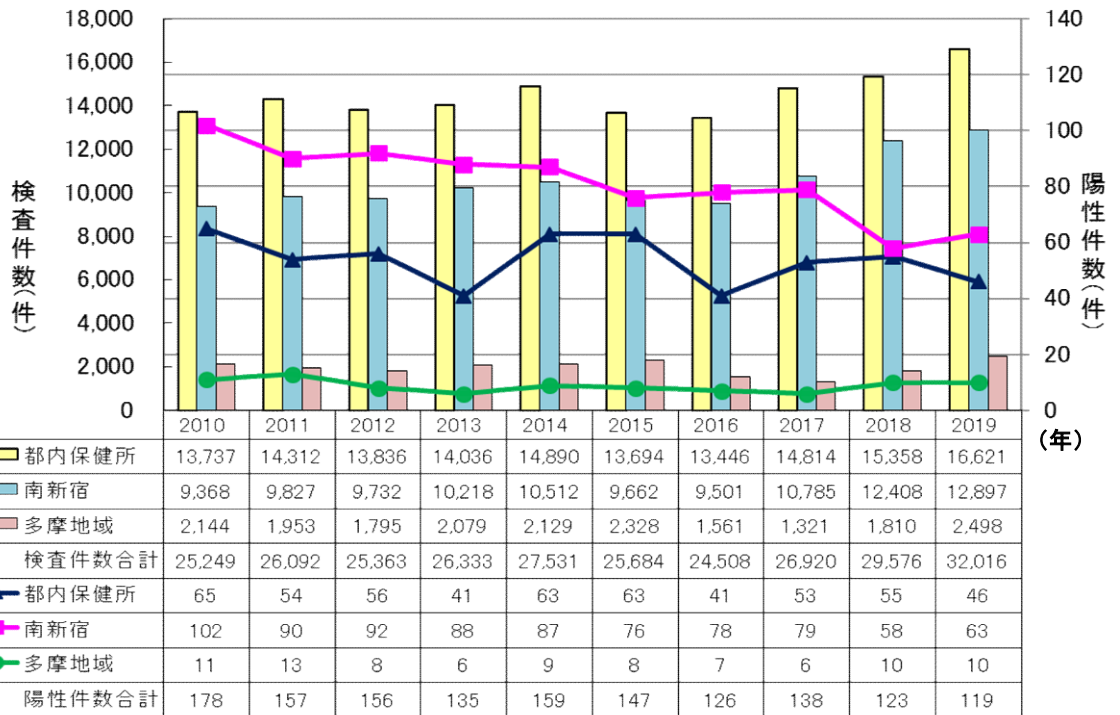
	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
東京都HIV/エイズ電話相談	15,450	12,764	13,942	11,676	14,263	15,555	10,389	12,293	16,836	14,181
都内保健所	7,820	7,071	6,492	6,938	7,566	6,915	6,352	6,525	6,220	6,836
合計	23,270	19,835	20,434	18,614	21,829	22,470	16,741	18,818	23,056	21,017

電話相談件数の合計は、前年よりも2,039件減少した。
東京都HIV/エイズ電話相談は2,655件減少し、都内保健所は616件増加した。

**ひとくち
×
ME**

東京都HIV/エイズ
電話相談:
03-3227-3335
平日: 正午～21時
土日祝: 14時～17時
HIV/エイズに
関しての感染不安
や予防などの相談
に応じています。

図-6
保健所等での
HIV検査件数
及び陽性件数
の推移
(過去10年)



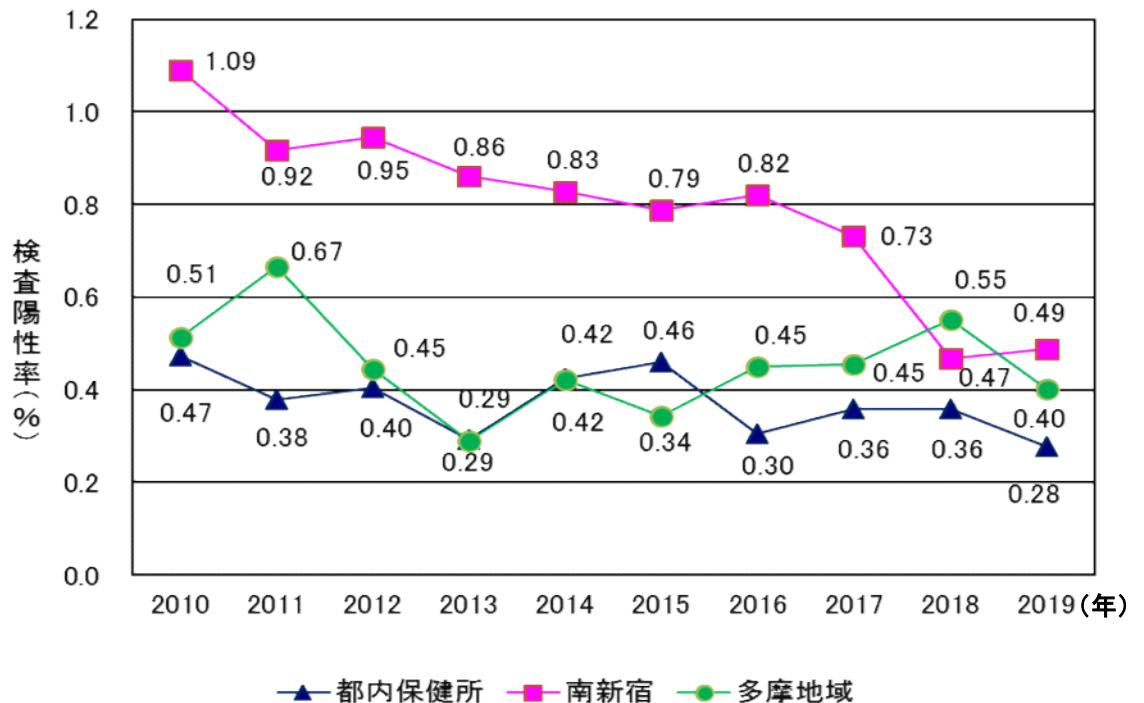
ひとくち
XME

無料・匿名でHIV検査
を行っている東京都
の検査・相談室

○東京都南新宿
検査・相談室：
新宿駅南口徒歩3分
平日夜間・土日

○東京都多摩地域
検査・相談室：
西国立駅徒歩9分
土曜日

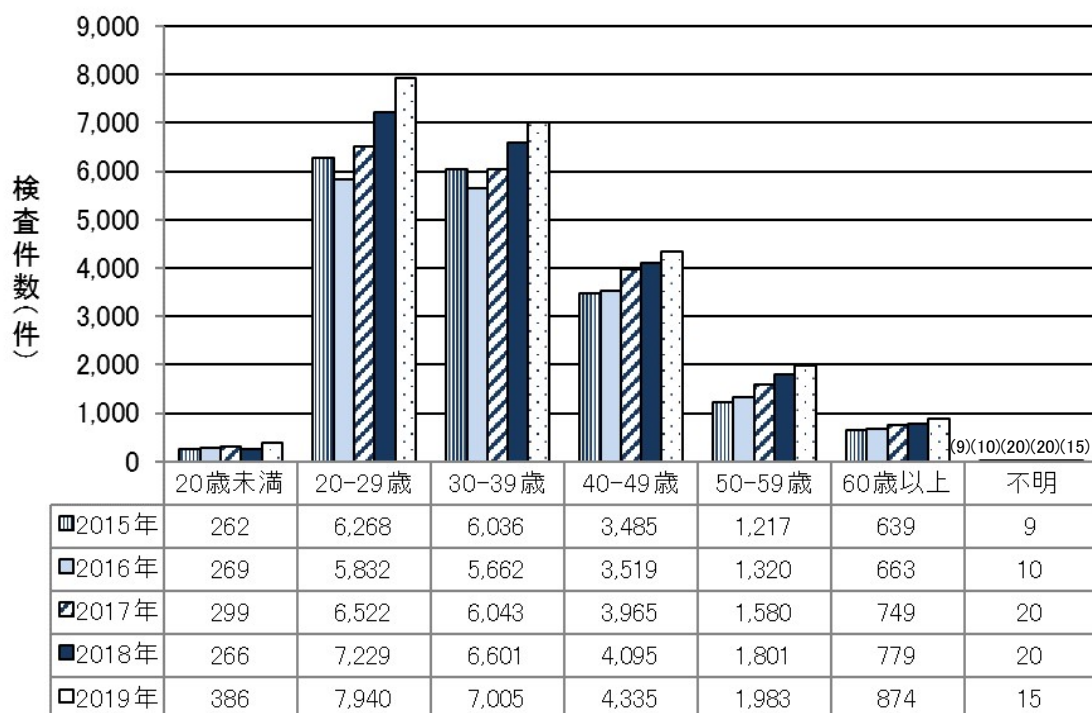
図-7
保健所等での
HIV検査陽性
率の推移
(過去10年)



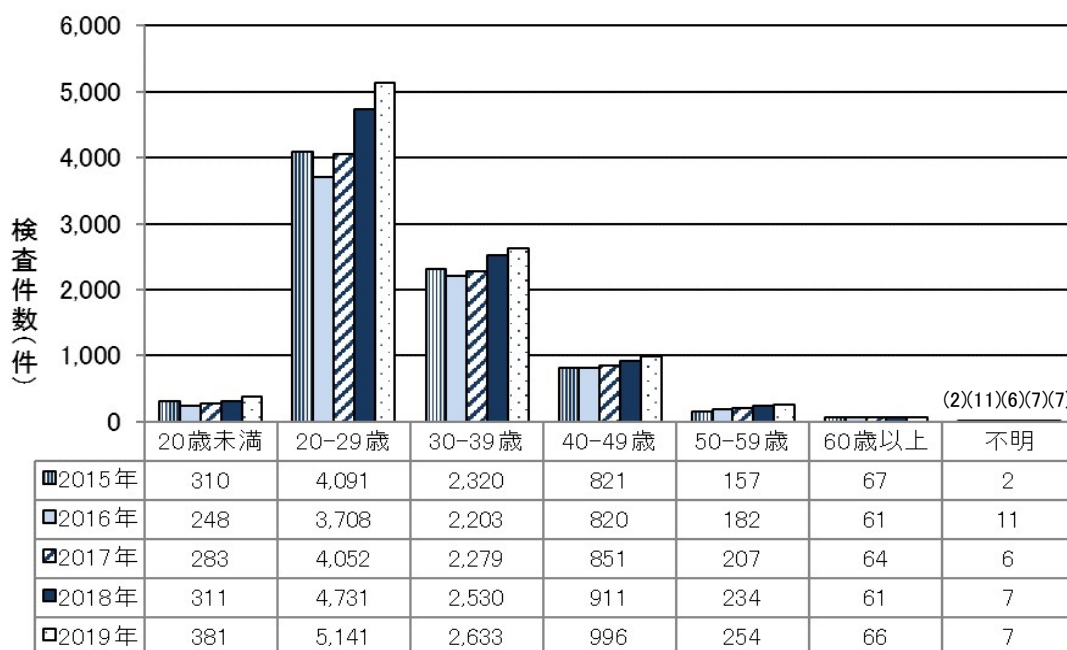
HIV検査件数の合計は32,016件で、前年と比べて2,440件増加した。
検査機関別に見ると、都内保健所は1,263件、南新宿は489件、多摩地域は688件増加した。
都内保健所の陽性件数は46件で昨年と比べ9件減少し、陽性率は0.28%で昨年と比べて0.08ポイント減少した。また、多摩地域の陽性件数は10件で昨年と同じで、陽性率は0.40%で昨年と比べて0.15ポイント減少した。一方、南新宿の陽性件数は63件で昨年と比べて5件増加し、陽性率は0.49%で昨年と比べて0.02ポイント増加した。

図-8
保健所等での
性別・年齢層
別HIV検査件
数の推移
(過去5年)

(1)男性



(2)女性



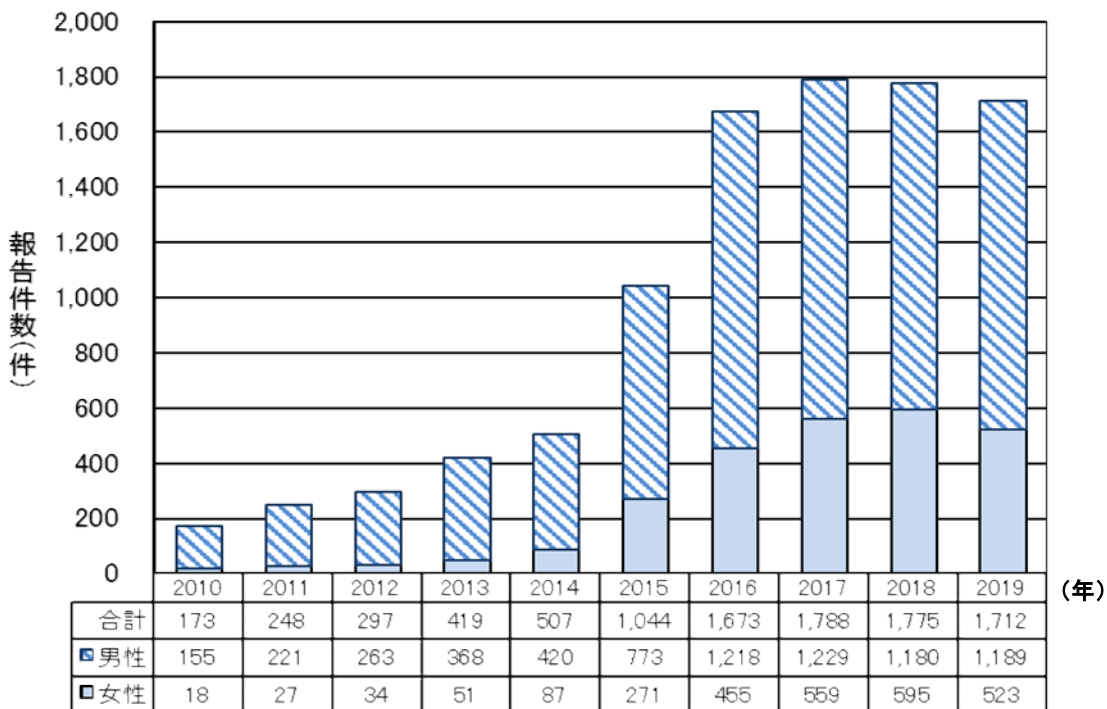
年齢層別のHIV検査件数は、男女ともに不明を除くすべての年代で、前年と比べ増加した。
男女ともに20歳代が最も検査件数が多く、次いで、30歳代、40歳代の順となった。

3 他の性感染症情報「東京都の梅毒の動向」

図-9
梅毒の患者
報告数の推移
(過去10年)

梅毒とは？

梅毒トレポネーマによる感染症です。性行為で粘膜や皮膚の小さな傷から感染します。昔の病気と思われがちですが、近年患者数が増加しています。治療をしなければ、発疹やただれなどが出てきたり消えたりしている間に、病気が進行してしまいます。



—東京都感染症情報センターHP「梅毒の流行状況」—

報告件数は1,712件で、前年と比べて63件減少した。性別に見ると男性は9件増加、女性は72件減少した。

図-10
梅毒の推定感染
経路別報告数の
推移
(過去10年)

梅毒のポイント①

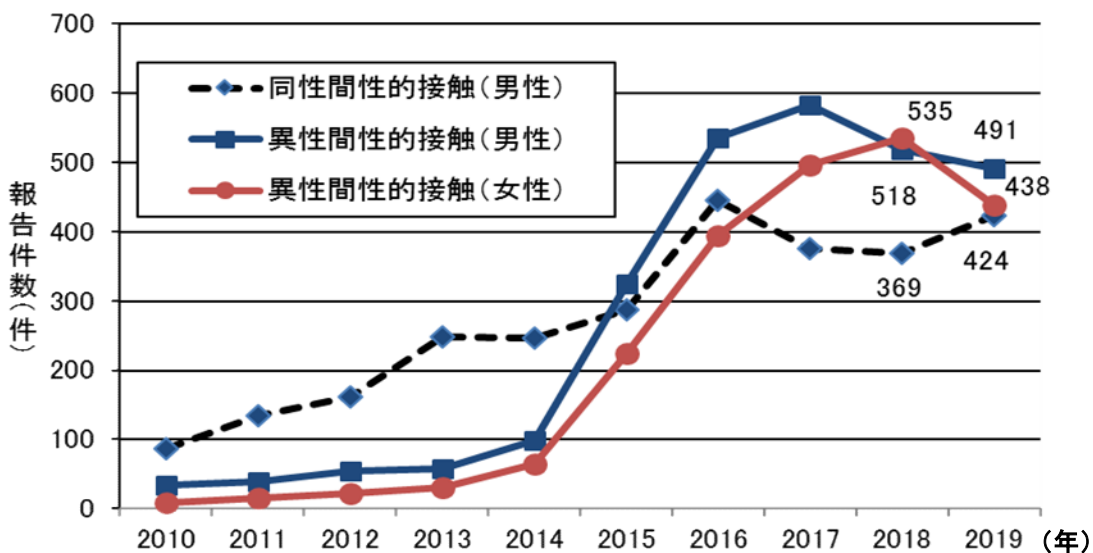
オーラルセックスでも感染します。

症状がなかったり、皮膚に症状がでて痛みやかゆみがないことがあります。

症状が自然と消え、治ったと思いつつも入ることもあります。

免疫ができないので、治療し、完治しても何度でも感染します。

症状がなくてもパートナーを感染させることもあります。



—東京都感染症情報センターHP「梅毒の流行状況」—

報告件数は男性の異性間性的接触が491件で最も多く、次いで女性の異性間性的接触が438件であったが、ともに前年と比べて減少した。一方で、男性の同性間性的接触による報告件数は424件で前年と比べて増加した。

図-11
梅毒の性別・
年齢別患者
報告数の推移
(過去5年)

梅毒の
ポイント②

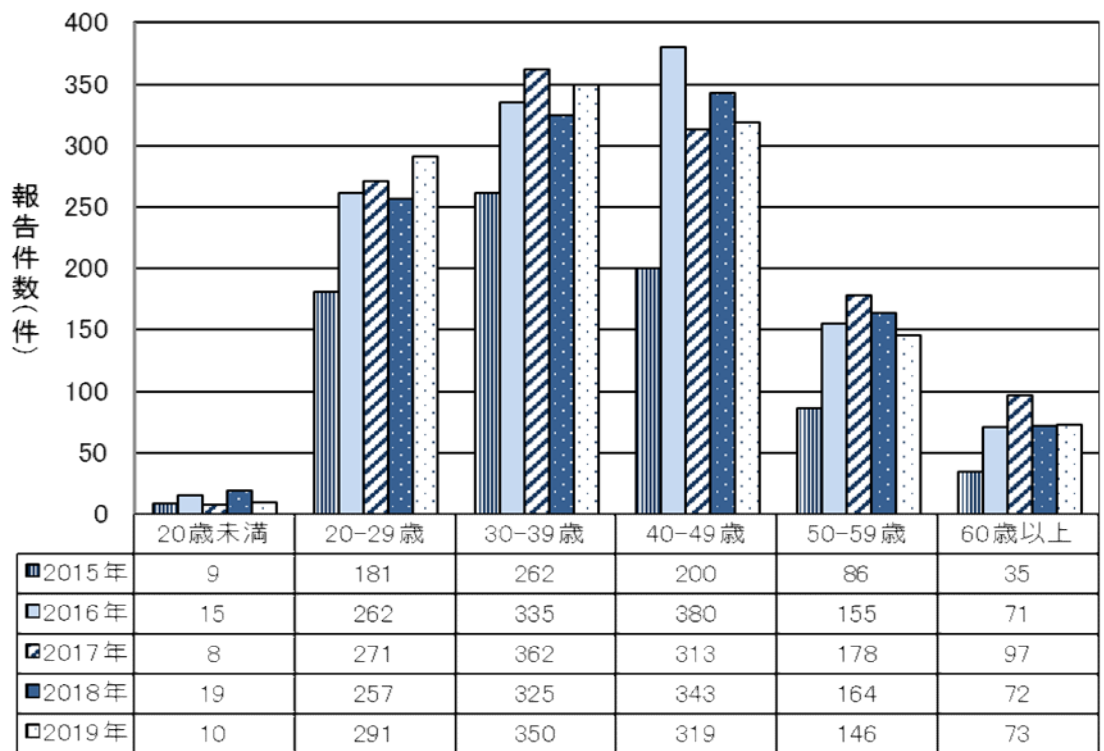
感染しているかどうかは検査で分かります。

パートナーも梅毒検査を受けましょう。

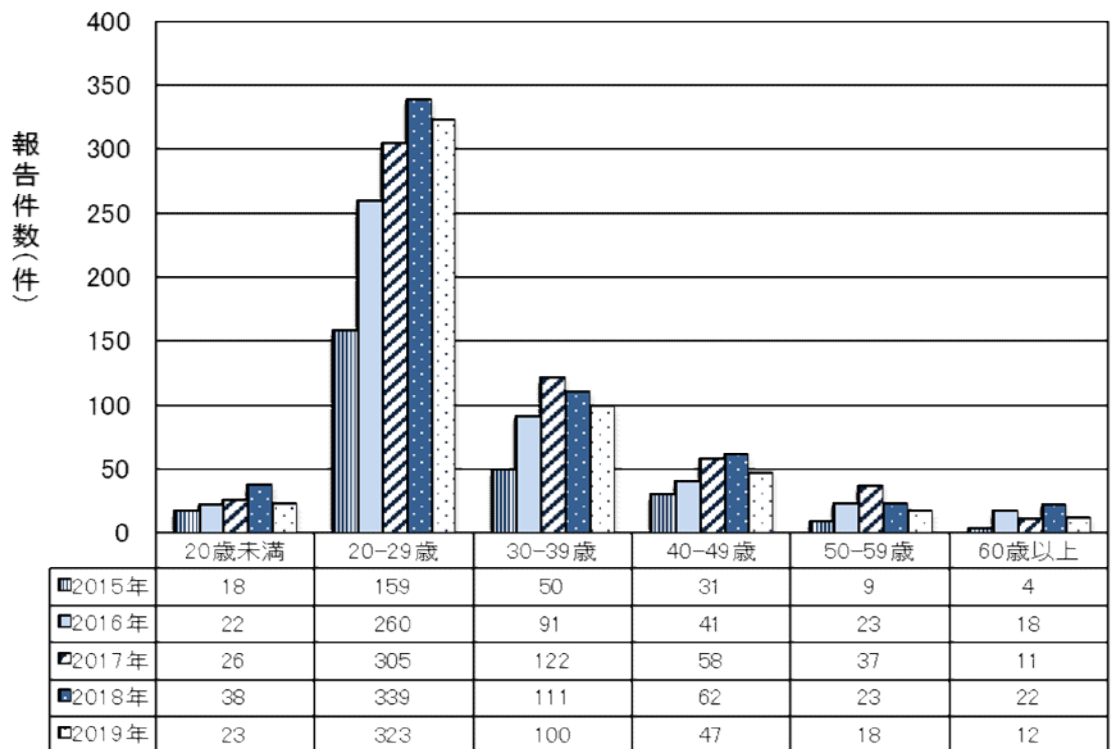
症状があるときはすぐに医療機関を受診しましょう。

予防には、コンドームの適切な使用が有効です。

(1) 男性



(2) 女性



—東京都感染症情報センターHP「梅毒の流行状況」—

性別に報告件数を見ると、男性は20～40歳代に多く、女性は20歳代に多い。
2019年は、男性の20歳代、30歳代および60歳以上で前年に比べて報告件数が増加した。

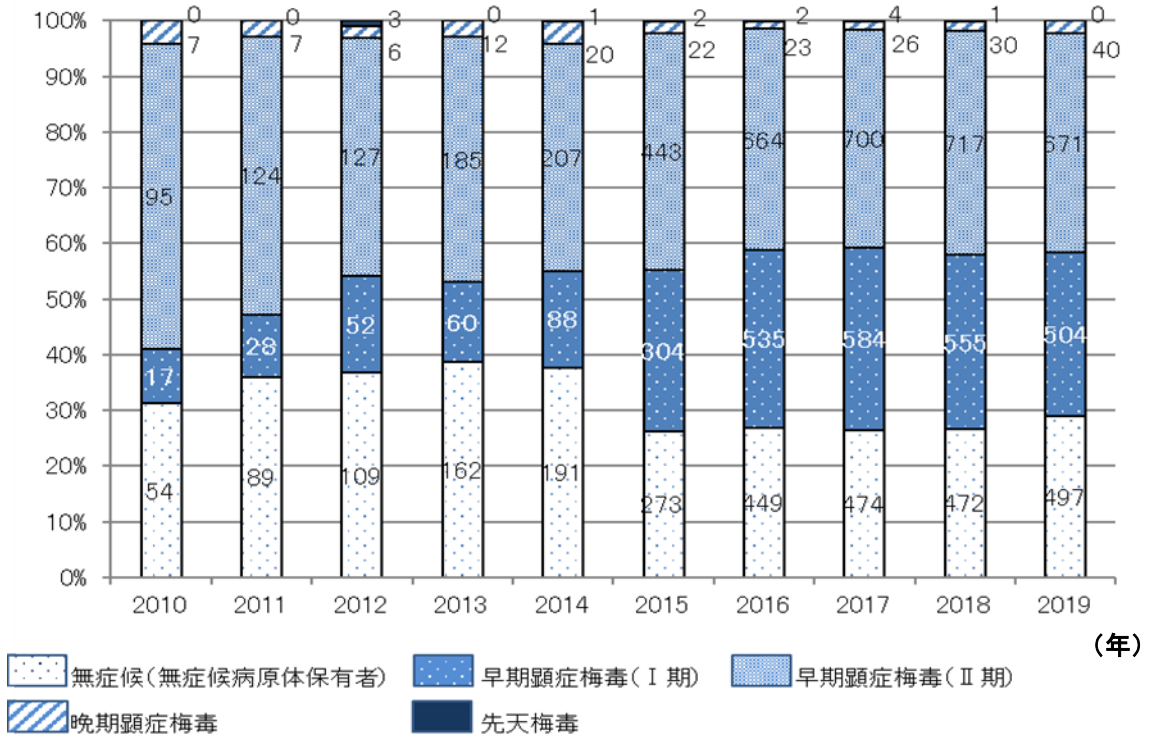
図-12
梅毒の病型別患者報告数の推移
(過去10年)

梅毒の症状

無症候:
症状は現れていないが、梅毒血清反応が陽性。

早期顕症梅毒 (I期):
感染した場所に、しこり・ただれ等の症状が現れている状態。

早期顕症梅毒 (II期):
I期の症状が消えた後、手足・全身などに発疹の症状が現れている状態。



—東京都感染症情報センターHP「梅毒の流行状況」—

2015年以降、早期顕症梅毒 (I期、II期) の報告数及び割合が増加した。

【梅毒情報】 東京都性感染症ナビ <https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/seikansensho/>
 東京都福祉保健局HP「梅毒について」
 東京都福祉保健局「性感染症ってどんな病気？」

東京都 性感染症

《検査は匿名・無料》 ※検査実施状況については、事前にHPを御確認ください。

★東京都南新宿検査・相談室 HIV通常検査(予約制)

HIV検査と同時に梅毒検査も毎日実施しています。


住所: 渋谷区代々木二丁目7番8号 東南新宿ビル3階 JR新宿駅南口徒歩3分
 予約電話番号: 03-3377-0811

- 電話予約受付時間 月～金曜日(祝日を除く) 15:30～19:30
- 土・日曜日(祝日を除く) 13:00～16:30
- 検査受付時間 月～金曜日(祝日を除く) 15:30～19:30
- 土・日曜日(祝日を除く) 13:00～16:30

※6/1～6/30及び11/16～12/15は、希望者には性器クラミジア・淋菌同時検査を実施(尿検査のため、検査日の前日までに尿採取セットの受け取りが必要)

平日夜間・土日検査

※インターネット予約(24時間)



★東京都多摩地域検査・相談室 HIV検査(予約制及び先着順)


HIV検査と同時に梅毒即日検査も実施しています。

住所: 立川市羽衣町二丁目63番 東京都立川保健衛生仮庁舎内 JR南武線西国立駅徒歩9分
 予約電話番号: 080-2022-3667

- 電話予約受付時間 月～金曜日(祝日を除く) 10:00～16:00
- 検査受付時間 土曜日(祝日を除く) 10:00
- 先着順検査 ※実施しない場合があります。事前にHPを御確認ください。
- 検査受付時間 土曜日(祝日を除く) 13:00～15:00

問い合わせ先 090-2537-2906(検査日当日9:30～17:00)
 ※判定保留の場合は原則1週間後に検査結果を通知します。

土曜・即日検査



【発行】東京都福祉保健局感染症対策部防疫・情報管理課エイズ対策担当
 〒163-8001 新宿区西新宿二丁目8番1号 電話 03-5320-4487